

「就職氷河期世代活躍支援ひろしまプラットフォーム事業実施計画」の令和3年度における進捗状況

1 不安定な就労状態にある方

2 長期にわたり無業の状態にある方

3 社会参加に向けた支援を必要とする方

【目標】

◎ 広島県における正規雇用者を3年間で4,800人増やすことを目標とし、不安定な就労状態にある方への就職支援を強化する。 ※国の目標に準拠

◎ 地域若者サポートステーションを中心に、本人やその家族の希望に応じ、就労その他の職業的自立に繋げることを目指す。

◎ ひきこもり状態の人や家族などの状況に合わせた相談支援体制を整備するとともに、全市町で就労準備支援事業を実施し、社会参加に向けた支援を行う。

【主な取組概要及び進捗状況】

取組概要	進捗状況	取組概要	進捗状況	取組概要	進捗状況
<p>【マッチング・相談による支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○就職氷河期世代支援窓口を設置し、チーム支援を実施（労働局） <ul style="list-style-type: none"> ハローワーク広島 ハローワーク広島西条 ○氷河期世代を対象とした限定求人・歓迎求人の開拓・確保（労働局） ○各ハローワークにおけるセミナー・ミニ面接会の開催（労働局） ○民間委託による成果運動型の教育訓練、職場実習等を実施（労働局） ○民間委託による企業説明会や就職面接会の実施、幅広い周知広報の実施による気運の醸成（労働局） <p>○就労体験を通じた業種・職種の理解の推進のための職場実習・体験の実施（労働局）</p> <p>○ひろしましごと館における就職支援等（県）</p> <p>○求人ニーズの掘り起こしとコーディネート機能の強化（県）</p> <p>○就職氷河期世代等のマッチングの促進（広島市）</p> <p>○民間事業者による中小企業と就職氷河期世代の者とのマッチング事業の開催（経産局）</p> <p>【職業能力開発等に向けた支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○短期資格等取得コースを創設し、安定した就労につなげる支援を実施（労働局） ○県立高等技術専門校及び広島能力開発促進センターにおいて職業訓練を実施（県・機構） <p>○求職中の非正規雇用労働者の方が働きながら受講しやすい夜間・土日やeラーニング等の訓練の提供（労働局）</p> <p>【職場定着・企業向けの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特定求職者雇用開発助成金・トライアル雇用助成金の積極的な活用（労働局） <p>○企業内での実習（OJT）と座学（OFF-JT）による訓練機会の提供を行うことで非正規から正規社員の転換を促進する「人材開発支援助成金」の要件緩和（労働局）</p>	<p>【マッチング・相談による支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○【ハローワーク広島】令和2年4月1日設置【ハローワーク広島西条】令和3年3月1日設置 令和3年度実績（R3.9月末現在） 就職件数1,380人（累計3,450人） ○限定求人213人 歓迎求人934人（R1.8～R3.8累計） ○開催数168回 参加者数578人（R3.9月末現在） ○支援対象者数14人 就職件数1人（R3.10月末現在） ○「就職氷河期世代を採用する企業」応援セミナー（R3.7.21）参加企業数12社 ・ワークショップ&個別相談会（R3.8.21 広島エリア）参加者数14人（R3.9.4 オンライン）参加者数9人 ・オンライン合同企業面接&説明会（R3.10.29 広島エリア）参加企業数15社 参加者数16人（R3.11.13 福山エリア）参加予定企業数14社 ※中止 ○受入可能事業所数6社 参加者数6人（実施予定を含む） ○相談件数148件、就職件数13件（R3.9月末現在） ○令和3年6月に「働きたい人全力応援ステーション」を県内2か所に設置。求人開拓件数2,264人、求職登録件数200人（うち就職氷河期世代68人）、就職決定件数32人（うち就職氷河期世代11人）（R3.9月末現在） ○令和3年6月に紙屋町シャレオ内に「しごと相談カフェiroha」を設置。登録者数300名（うち就職氷河期世代168人）、就職決定者数50名（うち就職氷河期世代22人）（R3.9月末現在） ○合同企業説明会の開催（R3.10.8）参加企業数13社 参加者数11人 【職業能力開発等に向けた支援】 ○開講コース4件（広島県内） ○令和3年9月末現在 県：施設内開講コース3件 委託先開講コース37件（広島県内） 機構：施設内訓練コース16件（うち企業実習付き3件）設定 ○求職者支援訓練短期短時間（エクセル実務活用科）1コースの設定 【職場定着・企業向けの取組】 ○特定求職者雇用開発助成金43件 ・トライアル雇用助成金26件 ※35～44歳の申請件数（R3.9月末現在） ○人材開発支援助成金 申請20件 計画52件（R3.9月末現在） 	<p>地域若者サポートステーション（以下「サポステ」という。）の取組強化（労働局・県）</p> <p>【相談・各種プログラム等による支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規登録者数（9月末累計） ○就職件数（9月末累計） ○支援対象年齢が49歳までに拡大されたことを踏まえた相談体制の整備 ○働く意欲向上等に向けたプログラムの提供 <p>【関係機関へのアウトリーチ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福祉機関等への出張相談の実施 <p>【職場体験の機会の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職場体験等の受け入れ先の拡大 <p>【職場定着・ステップアップ支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中・長期的なキャリア形成のための資格取得等技術向上支援に向けた個別相談や懇談会等の実施 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ひろしま北部地域サポートステーションの事業規模の拡大 	<p>【相談・各種プログラム等による支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規登録者数（R3.9月末現在） ひろしまサポステ 91人 ひろしま北部サポステ 35人 ふくやまサポステ 37人 ○就職件数（R3.9月末現在） ひろしまサポステ 88人 ひろしま北部サポステ 47人 ふくやまサポステ 34人 ○各サポステにおいてスタッフを増員し、情報提供やGATB等の適職診断により自己理解を進め、面談重視の伴走型の支援を実施。 ・サポステ+（40代用の相談窓口）を開設。利用者数5人 相談件数44件（ふくやまサポステ） ○就職氷河期向けセミナー「サポステ・プラス就活セミナー」を開催。また、就職氷河期世代向けセミナーを月2回開催。（ひろしまサポステ） 【関係機関へのアウトリーチ】 ○各サポステにおいて、様々な支援窓口に対し、49歳までの就労支援について、出張相談が可能な旨アピールしている。 ・ひろしま北部サポステでは、基幹相談センター、自治体の福祉相談機関と連携して、対象者と同席による面談や重層的・支援会議を実施している。 定期相談12回 個別相談4回 【職場体験の機会の確保】 ○職場体験先の企業開拓を強化し、見学を含めて積極的に開拓することで企業や地域社会の理解を求めている。 ひろしまサポステ 13回 13人 ひろしま北部サポステ 3回 3人 ふくやまサポステ 1回 1人 【職場定着・ステップアップ支援】 ○ジョブカードを用いて自己理解を促し、キャリアコンサルティングを実施している。また、ハローワークと連携して職業訓練の受講を推進している。 【その他】 ○「面談のきたサポ」をテーマに面談力の強化及びポテンシャルアップのために知識を充実させるスタッフ学習会（月1回実施）を作り、マルチに利用者対応ができる環境づくりに取り組んでいる。 また、当該エリアとなる広島県北部地域の市町プラットフォーム事業への積極的な参加により、事業拡大を目指している。 	<p>【支援対象者の把握・相談支援の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○支援対象者の把握・分析方法の検討（県） ○市町における支援体制の充実（県） 居場所づくり、相談体制、アウトリーチ機能を備えた生活困窮者自立相談支援事業等の充実 ○支援者の資質向上のための研修の実施（県） 【本人の状況に応じた柔軟な働き方の機会の提供】 ○自立相談支援機関による就労支援や就労準備支援等の充実（県） <p>【地域ネットワークの形成・活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市町の取組の好事例等の情報収集や情報提供（県・労働局） ○従事者研修の開催（県） 	<p>【支援対象者の把握・相談支援の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自立相談支援機関の従事者研修を年4回企画。11月29日（1回目）及び12月20日（2回目）に実施予定。3回目以降も企画中。 【本人の状況に応じた柔軟な働き方の機会の提供】 ○国の重点支援及びコンサルティング支援を活用し、就労準備支援事業に関する市町研修を実施。 重点支援研修（参加6機関）（R3.8月） コンサルティング研修（参加者数35人）（R3.10月） 自治体別個別コンサルティング（3市町）（R3.9～11月） ・一般企業就職の手前の訓練である生活困窮者認定就労訓練事業についての説明会（R3.10.20）廿日市市で開催。社会福祉法人10法人、社協、市が参加。 【地域ネットワークの形成・活用】 ○生活保護等主管課長会議にて、就職氷河期世代支援の説明と市町プラットフォームの構築を依頼（R3.5.13）。 ・他県好事例等を市町に情報提供。 ・市町プラットフォームの構築についての進捗状況把握を市町宛に発出。 ○自立相談支援機関の従事者研修（1回目）において、機関連携の重要性を学ぶ困窮者支援者の研修を併せて実施（R3.11.29） ・「地域の支え合いコーディネート機能強化研修」開催 参加者：市町職員・社協職員等（13市町・67名）開催状況：全4回（7/26, 8/18, 9/28, 10/22）※一部Web実施 ・「ひきこもり支援者研修」 テーマ「地域におけるひきこもり支援について」～発達障害との関連等の基礎理解から長期化問題まで～（R3.11.8） ・自立相談支援機関の従事者研修を年4回企画。11月29日（1回目）及び12月20日（2回目）に実施予定。3回目以降も企画中。（再掲） ・「ひきこもり家族支援グループ公開講座」 テーマ「ひきこもり体験者や家族の体験談」他、ミニ講義（未定） R4.2.15）（予定） <p>○市町担当者会議の開催（県）</p>
<p>○正規雇用者について、<u>3年間で4,800件以上</u>を目指す。</p>		<p>○求職活動に踏み出すための支援を行い、<u>3年間で就職件数576件以上（サポステ利用者）</u>を目指す。</p>		<p>○ひきこもり状態の人や家族などの状況に合わせた相談支援体制を整備するとともに、就労準備支援事業（生活困窮者自立支援制度）を全市町で実施する。</p>	

【KPI】